

# 教育実習（幼稚園）の集中実習事前指導の 取り組みに関する研究

— 学生アンケートをとおして —

豊辻 晴香<sup>1)</sup> ・ 金丸 智美<sup>2)</sup>

## A Study of The Intensive Prior Guidance on Teaching Practice: through the questionnaires by students

by

Haruka TOYOTSUJI ・ Satomi KANAMARU

【キーワード】 集中実習事前指導、教育実習

### 【要旨】

1 年次 9 月にある教育実習 I（幼稚園）に向けて実施される集中実習事前指導における学生の認識とその指導効果について学生アンケートを用いて検討した。その結果、保育技術などの指導内容に満足でき、集中事前指導をとおし実習に対する意欲が高まったという結果がでた。また正規実習においては、学生自身は実習園に感謝し挨拶や対応にしっかりと取り組んだと認識していることが明らかになった。これらのアンケート結果は実習直前に集中的に実習事前指導を実施したことにより学生が意欲的に実習に取り組んだことを示唆し、集中実習事前指導は一定の効果を上げたといえる。

---

受理日 平成 25 年 11 月 1 日

<sup>1)</sup> 純真短期大学こども学科 講師

<sup>2)</sup> 純真短期大学こども学科 助教

## I. はじめに

純真短期大学（以下、本学）における幼稚園教育実習は1年次の9月（2週間）：教育実習Ⅰと2年次の9月（2週間）：教育実習Ⅱの2回実施されている。またほとんどの学生が保育士養成課程にも属しており、その場合1年次の2～3月に保育実習Ⅰを経験する。2年間を通じて保育者養成に係る初めての实習を入学から約半年後の1年次9月に2週間行うことは他の養成校ではあまり見ない本学の大きな特色の一つであろう。この時期に教育実習Ⅰを行う主な理由は学生の経験を積むためである。もし本学が附属幼稚園を併設していれば杉原（2010）らのように学生が子どもと実際にかかわる機会を持つだけでなく、養成校と附属園の連携の下、指導案作成から設定保育実施まで一貫した指導を行うことも可能であろう<sup>1)</sup>。代わりに、本学では1年前期に学外の幼稚園での一日観察・体験実習や近隣園の子どもたちを本学に招いて遊びを提供する「こどもまつり」の実施を行っているものの、それだけでは子どもの姿や幼稚園教諭の職務、幼稚園の教育的環境等について知識を深めるには不十分である。解決策として子どもとふれあう機会の増加や視聴覚教材を多用する方法もあるが、それだけでは限界がありこのままでは1年生の授業内容が机上の空論になる可能性も考えられる。そこで、実習での現場経験を積みその学びを講義学習と結びつける効果を期待し、本学では1年前期終了後の9月という早い段階で初回の教育実習を行っている。1年生を受け入れる実習園にはこの学習的側面とねらいについて実習内諾の時点で伝え、概ねご理解の上で本学の教育実習にご協力いただいている。

この教育実習を実りある学びの機会とするために重要なのが実習事前事後指導である。濱田（2010）らは実施された事前指導内容は教育実習を行う上で重要なものだったと学生自身が捉えていることを明らかにした<sup>2)</sup>。また小川（2009）らは学生の実習日誌や自己評価、そして実習園からの評価やアンケート等から教育実習Ⅰの事前事後指導において「実習の学び」の基本事項を定着させる重要性を提言した<sup>3)</sup>。学生を実習に送り出すためにおそらくどの養成校も最善の努力を尽くしているだろうが、しかしながら、実習園側が養成校に対し実習生の実習に対する心構え、提出物等の期限厳守、清潔感のある身だしなみの徹底等を求める声は未だ聞かれる<sup>4)</sup>。また目的意識が低く単位取得のためだけに実習をこなしているように見える実習生についての苦言も散見される<sup>5)</sup>。

そのため事前指導には実習生としての姿勢や手続き、一般常識、マナー、教材研究、保育技術など多岐にわたる内容を盛り込ませる必要であり、養成校は実習事前指導の充実がより一層求められている。本学の教育実習に係る実習指導は入学当初から教育実習Ⅱの終了後の事後の振り返りまで定期的に行っているが、上述の内容を十分に理解し習得した上で9月の2週間の実習をこなすには当然ながら1年前期の通常授業期間内での15回の指導では不足している。また前期終了後の夏休みに行われた実習園との事前打ち合わせで実習課題を出された学生もいる。そこで保育者養成課程の学生にとって初回実習である教育実習Ⅰが始まる直前に更に集中的に事前指導を行う必要性を感じ、本学では「集中実習事前指導」を実施し始めた。

集中実習事前指導に取り組み始めて数年経つが昨年あたりから学生数が増加しており指導が個々の学生まで行き渡っているのか問題である。そこで本研究の目的として、1）集中実習事前指導の効果を学生自身がどのように感じているか、2）実際にその効果がも

たらせられているのか、の2点について調査し、集中実習事前指導の実態と成果を振り返り、今後の課題を検討したい。

## Ⅱ. 教育実習Ⅰ（幼稚園）の概要

1年次9月に2週間かけて行われる教育実習Ⅰ（幼稚園）の主な目的は、幼稚園の機能や幼稚園教育の内容と方法、そして子どもの姿等について全般的に理解を深めることである。正規実習としては初回のため、ここでは観察・参加を中心として内容が構成されており、実習生は保育者の様子や子どもとの関わる姿を参考にしながら、手遊び、絵本読み、紙芝居といった部分保育を実践することで、子どもを惹きつけることが出来る保育の基礎的技術を体得していく。

そのため、実習生には興味や積極性だけでなく、自身を振り返る客観性、自己本位や驕傲にならず保育者からの助言と指導に耳を傾ける素直さなども求められる。このようなさまざまな学びと経験を通して、学生は今後の学習と望ましい保育者に向けての目標及び自己課題を発見し、研鑽を積みながら幼稚園実習の集大成である教育実習Ⅱに備えることを目的としている。

## Ⅲ. 集中実習事前指導の概要

### 1) 実施時期およびスケジュール

集中実習事前指導（以下、集中事前指導）は昼休みを含め1日6時間前後を連続3日間（週末を挟む場合もあり）実施している。昨年度は実習開始日（平成24年9月3日）直前の平成24年8月29日から8月31日に実施したが、集中事前指導欠席者への対応や学生が実習先の地元に帰省する時間などを考慮し、本年度は1週間ほど前倒して平成25年8月30日から9月3日（平日のみ）に行った。なお、本年度の実習開始日は平成25年9月9日である。

### 2) 目的および内容

集中事前指導の目的は、実習を目前に控えた中、各指導に取り組むことで初めての現場実習に対する不安や悩みを軽減し実習への意欲を高めることである。指導内容はこれまで通常授業で指導できなかったことの補足や実習直前での再確認事項、また具体的な実習課題（部分・設定保育など）を含めた保育実技を重点に構成されている。各指導には本学のこども学科の全教員がかかわる。

#### ① 実習実務指導

クラス全体に対して幼稚園実習担当教員が【表Ⅰ】の内容を講義形式で数回授業を行う。

#### ② 指導案指導

クラス全体を20名程度のグループに分け、各グループに2～3名の教員が入り演習形式で授業を行う。まず指導案の意義や立案方法を説明した後、実際に学生が設定保育の指導案を作成し教員に提出する。それを教員が添削し後日返却しながら個別指導を行う。

#### ③ 保育実技指導

学生は指導案同様グループに分かれて【表2】の授業をローテーションで受講する。ピ

アノに関しては1 : 1の個別指導がある。なお、実習日誌の書き方は他講義で詳細な指導を受けているため、ここでは「1日の記録」以外のページについての指導を行う。

#### ④ 昼食指導

実習中に弁当を作ることを想定し、全員手作り弁当を持参し教員と学生と一緒に昼食を取る。その時に食事の所作やマナーなどの指導も行う。

#### ⑤ 掃除指導

掃除の順番や箒の掃き方、雑巾の絞り方など掃除全般について実践を通して指導する。

#### ⑥ 挨拶指導

出勤や退勤するときの挨拶など、実践を通して指導する。

【表 1】 集中事前指導における実習講義

講 義	主な授業内容
心構え・マナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に取り組む姿勢</li> <li>・子どもとのかかわり、職員や保護者、来園者とのかかわり</li> </ul>
勤 務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出勤時間や出勤後の流れ</li> <li>・欠勤・遅刻について</li> </ul>
身だしなみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時や保育時での服装、化粧、髪型</li> <li>・スーツ着用での身だしなみチェック</li> </ul>
実習後の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習日誌の提出</li> <li>・お礼状の作成</li> </ul>

【表 2】 集中事前指導における保育実技

実 技	主な授業内容
ダンス・ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の合間に出来るダンス・ゲーム</li> <li>・発達年齢に沿ったルール説明の仕方</li> </ul>
読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本や紙芝居の持ち方やページのめくり方</li> <li>・絵本や紙芝居の読み方（抑揚、声量、声色等の使い分け）</li> <li>・様々な方法の読み聞かせ（問いかけ形式、朗読形式など）</li> </ul>
手遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達年齢に沿った手遊び</li> <li>・手遊びから次の活動へのつなげ方（展開の仕方）</li> </ul>
ピアノ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園からの課題曲の弾き歌い</li> <li>・季節の歌や生活の歌の弾き歌い</li> </ul>
造 形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージカードの作り方</li> <li>・壁面の作り方</li> <li>・発達年齢に沿った基本的な道具の使い方とその説明の仕方</li> </ul>
書 類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習書類一式の作成</li> <li>・日誌の書き方（全ページ）</li> </ul>

#### Ⅳ. 研究の方法

##### 1) 調査対象および調査時期

平成 24 年および平成 25 年 9 月に、「教育実習指導」の一環としてアンケートを実施した。対象は「教育実習Ⅰ（幼稚園）」を終了した純真短期大学こども学科 1 年生（平成 24 年度 102 名、平成 25 年度 102 名、計 204 名）である。

##### 2) 調査内容

「教育実習Ⅰ（幼稚園）」実施直前に行われた「集中事前指導」に関する項目（9 項目）、実習中の意欲および態度に関する項目（4 項目）を「1. 思わない」「2. あまり思わない」「3. そう思う」「4. とてもそう思う」の 4 件法で回答してもらった。

また、実習後の自己課題を 16 項目挙げ、該当するものを全て選んでもらった（複数回答）。アンケートの各項目は【表 3】のとおりである。

【表 3】 アンケート項目

【集中事前指導】	・ 正規実習前に集中事前指導があつて良かった
	・ 指導案について学べて良かった
	・ 造形について学べて良かった
	・ ピアノレッスンがあつて良かった
	・ ダンス・体操があつて良かった
	・ 紙芝居等があつて良かった
	・ 書類作成が少人数体制であつて良かった
	・ 昼食や挨拶、掃除指導があつて良かった
	・ 実習に臨む意欲が高まった
【正規実習】	＜姿勢・意欲について＞
	・ 実習をさせていただくことに感謝しながら取り組んだ
	・ 出勤時と帰宅時には、全員の先生に挨拶した
	・ 助言や指導に対して、「はい、わかりました」と気持ちよく返答した
【課題】	・ 今回の教育実習(幼稚園)を通して、幼稚園教諭に対する魅力を感じるようになった。
	・ 今後取り組みたい課題は何ですか。該当するものを全てを○で囲って下さい。
	<div> <div>ピアノ</div> <div>絵本読み</div> <div>紙芝居</div> <div>手遊び</div> <div>声掛け</div> <div>言葉掛け</div> </div> <div> <div>体調管理</div> <div>挨拶・返事</div> <div>言葉遣い</div> <div>提出物等の締切</div> <div>子どもの発達</div> </div> <div> <div>日誌</div> <div>指導案の書き方</div> <div>設定保育の立案</div> <div>実習に取り組む態度</div> <div>実習前の課題準備</div> </div>



## V. 結果・考察

### 1) 集中事前指導

「正規実習前に集中事前指導があつて良かった」という質問に対し、90%以上の学生が「そう思う」「とてもそう思う」と回答している（【表 4】）。このことより、学生は集中事前指導に対し一定の効果があつたと感じていることが分かる。

【表 4】正規実習前に集中事前指導があつて良かった

		思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う	無回答
24年度	人数	1	14	54	33	0
	%	1.0%	13.7%	52.9%	32.4%	0.0%
25年度	人数	1	4	41	56	0
	%	1.0%	3.9%	40.2%	54.9%	0.0%
計	人数	2	18	95	89	0
	%	1.0%	8.8%	46.6%	43.6%	0.0%

次に、集中事前指導の指導内容毎に質問を行った（【表 5】）。多くの学生は、全ての項目に対し、良い評価を行っている。特に「ピアノレッスンがあつて良かった」という項目に関しては、半数以上の学生が「とてもそう思う」と回答しており、「そう思う」の学生と合わせると 90.2%の学生が「ピアノレッスンがあつて良かった」と回答している。これは、ピアノに対して苦手意識を持っている学生が多いということに加え、この集中事前指導では実習園から出されたピアノ課題を個別に指導したため、自身の実習に直接的な効果をもたらしたと考える学生が多かったためではないかと思われる。

また、「紙芝居等があつて良かった」という質問に対して、94.6%の学生が「あつて良かった」と回答している（「とてもそう思う」49.5%、「そう思う」45.1%）。幼稚園実習では絵本読みや紙芝居などを園児の前で体験することが多く、中には実習中毎日絵本読みを実践させていただける園もある。特に 1 年次の実習では「手遊び、絵本読み、紙芝居等を中心とした 15 分から 30 分程度の設定保育」の実践を園にお願いしており、他の保育技術に比べ、実践した学生が多いと言える。そのため、学生は実習前の集中事前指導で紙芝居や絵本読みについて改めて学ぶ必要性を感じたのだと考えられる。

24 年度と 25 年度を比較すると、「指導案について学べて良かった」という項目で「とてもそう思う」と回答した学生が約 25%も増加していることが分かる。

指導案指導に関しては、24 年度は指導時間が足りず、十分な学習および指導を行うことができなかったことが教員の反省として残った。そのため、25 年度は指導案指導の時間を増やし、できるだけ細かな部分まで学習ができるように改善した。また、指導案作成前にフローチャート（【図 1】）を作成し、頭の中を整理するという方法を取り入れた。指導時間と学習方法の見直しを行ったことにより、25 年度の指導案に関する学習は 24 年度に比べ充実したものになった。このことが、学生の評価にも表れたのではないかと考えられる。

また、実習直前に集中事前指導を行うことで「実習に臨む意欲が高まった」という項目に対し、約 90%の学生が「意欲が高まった」と回答した（【表 6】）。この結果より、集中事前指導は学生の実習意欲を高める効果があつたことが明らかになった。

【表 5】 集中事前指導における指導内容

## ① 指導案について学べて良かった

		思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う	無回答
24年度	人数	2	15	53	32	0
	%	2.0%	14.7%	52.0%	31.4%	0.0%
25年度	人数	0	7	37	58	0
	%	0.0%	6.9%	36.3%	56.9%	0.0%
計	人数	2	22	90	90	0
	%	1.0%	10.8%	44.1%	44.1%	0.0%

## ② 造形について学べて良かった

		思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う	無回答
24年度	人数	2	19	50	31	0
	%	2.0%	18.6%	49.0%	30.4%	0.0%
25年度	人数	0	8	49	45	0
	%	0.0%	7.8%	48.0%	44.1%	0.0%
計	人数	2	27	99	76	0
	%	1.0%	13.2%	48.5%	37.3%	0.0%

## ③ ピアノレッスンがあつて良かった

		思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う	無回答
24年度	人数	1	11	40	50	0
	%	1.0%	10.8%	39.2%	49.0%	0.0%
25年度	人数	1	7	33	61	0
	%	1.0%	6.9%	32.4%	59.8%	0.0%
計	人数	2	18	73	111	0
	%	1.0%	8.8%	35.8%	54.4%	0.0%

## ④ ダンス・体操があつて良かった

		思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う	無回答
24年度	人数	4	21	50	27	0
	%	3.9%	20.6%	49.0%	26.5%	0.0%
25年度	人数	2	17	57	26	0
	%	2.0%	16.7%	55.9%	25.5%	0.0%
計	人数	6	38	107	53	0
	%	2.9%	18.6%	52.5%	26.0%	0.0%

## ⑤ 紙芝居等があつて良かった

		思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う	無回答
24年度	人数	1	7	51	43	0
	%	1.0%	6.9%	50.0%	42.2%	0.0%
25年度	人数	0	3	41	58	0
	%	0.0%	2.9%	40.2%	56.9%	0.0%
計	人数	1	10	92	101	0
	%	0.5%	4.9%	45.1%	49.5%	0.0%

## ⑥ 昼食や挨拶、掃除指導があつて良かった

		思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う	無回答
24年度	人数	5	19	50	27	1
	%	4.9%	18.6%	49.0%	26.5%	1.0%
25年度	人数	3	12	45	42	0
	%	2.9%	11.8%	44.1%	41.2%	0.0%
計	人数	8	31	95	69	1
	%	3.9%	15.2%	46.6%	33.8%	0.5%





## 2) 正規実習

正規実習時の実習意欲、実習態度に関する質問を行った。その結果、多くの学生が意欲的に実習に取り組むことができたことが分かる（【表 7】）。特に、「実習をさせていただくことに感謝しながら取り組んだ」という質問には、100%の学生が「取り組むことができた」と回答している（「とてもそう思う」66.7%、「そう思う」33.3%）。

【表 7】 正規実習

① 実習をさせていただくことに感謝しながら取り組んだ

		思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う	無回答
24年度	人数	0	0	41	61	0
	%	0.0%	0.0%	40.2%	59.8%	0.0%
25年度	人数	0	0	27	75	0
	%	0.0%	0.0%	26.5%	73.5%	0.0%
計	人数	0	0	68	136	0
	%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%

② 出勤時と帰宅時には、全員の先生に挨拶した

		思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う	無回答
24年度	人数	0	7	36	59	0
	%	0.0%	6.9%	35.3%	57.8%	0.0%
25年度	人数	0	2	34	66	0
	%	0.0%	2.0%	33.3%	64.7%	0.0%
計	人数	0	9	70	125	0
	%	0.0%	4.4%	34.3%	61.3%	0.0%

③ 助言や指導に対して、「はい、わかりました」と気持ちよく返答した

		思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う	無回答
24年度	人数	0	0	29	73	0
	%	0.0%	0.0%	28.4%	71.6%	0.0%
25年度	人数	0	1	16	85	0
	%	0.0%	1.0%	15.7%	83.3%	0.0%
計	人数	0	1	45	158	0
	%	0.0%	0.5%	22.1%	77.5%	0.0%

④ 今回の教育実習(幼稚園)を通して、幼稚園教諭に対する魅力を感じるようになった。

		思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う	無回答
24年度	人数	1	5	49	46	1
	%	1.0%	4.9%	48.0%	45.1%	1.0%
25年度	人数	1	5	39	57	0
	%	1.0%	4.9%	38.2%	55.9%	0.0%
計	人数	2	10	88	103	1
	%	1.0%	4.9%	43.1%	50.5%	0.5%

同様に、「助言や指導に対して、『はい、わかりました』と気持ちよく返答した」という項目に対しても、ほぼ全員の学生が「返答した」と回答している（「とてもそう思う」77.5%、「そう思う」22.1%）。これは、実習をさせていただいているという事に対する感謝の気持ちが行動で表れているのだと思われる。

また、学生の感謝の気持ちは、園の先生方への挨拶という形でも表出したことが明らかになった。「出勤時と退勤時には、全員の先生に挨拶した」という質問に対し、約 95%の学生が「挨拶した」と回答している（「とてもそう思う」61.3%、「そう思う」34.3%）。教員が実習園訪問を行った際にも、多くの園で学生の挨拶を褒めていただいた。

集中事前指導でも挨拶指導を行っているが、他の項目に比して学生の「指導があつて良かった」と回答した数はあまり多くはない。しかし、学生はさほど意識していないが、集中事前指導の中で行った挨拶指導の成果も表れたのではないかと考えられる。

「今回の教育実習（幼稚園）を通して、幼稚園教諭に対する魅力を感じるようになった」という項目では、90%以上の学生が「魅力を感じるようになった」と回答している（「とてもそう思う」50.5%、「そう思う」43.1%）。集中事前指導をとおして保育技術や実習態度を身につけることにより、充実した幼稚園実習を行い、且つ、意欲的に取り組むことができた。そのため学生は幼稚園教諭という仕事を具体的にイメージできるようになっただけでなく、自身の就業選択肢の一つとして捉えることができるようになったのではないかと推測できる。

正規実習に関する項目の結果から、学生は意欲的に実習を行っただけではなく、幼稚園教諭という職業に対する魅力にも気付くことができたことが分かる。このことより、集中事前指導を含む幼稚園実習事前指導は、教育実習Ⅰにおいて一定の成果を上げることができたと言える。

### 3) 実習後の課題

実習を終えて、学生自身が今後取り組みたい課題は何かを複数回答で質問した（【表 8】）。その結果、最も回答数が多かったものは予想通り、「ピアノ」であった（84.3%）。本学入学時はピアノを弾いたことがない学生や、初心者 of 学生が多く、普段からピアノに対する苦手意識を吐露する学生も多い。加えて、幼稚園では 1 日に何度もピアノ伴奏で子どもと共に歌う活動があるため、ピアノ技術向上の必要性を学生自身が感じたのではないだろうか。

次いで回答数の多かったものは「手遊び」であった（78.9%）。ピアノと同様、手遊びも幼稚園現場では 1 日に何度も行われる上、状況や年齢に応じた手遊びを行う必要がある。加えて、手遊びには「子どもの集中を促す」、「興味を惹く」などの効果もあり、学生にとって子どもの反応が分かりやすい保育技術の一つでもある。そのため、より多くの種類の手遊びを身に付けたいという意欲が高まったのではないだろうか。

さらに本学が実施している教育実習Ⅰでは、参加実習の目標として「子どもたちを惹きつけることができる基礎技術を体得する」というものを掲げている。また前述の通り、部分保育実施の際は、手遊び、絵本読み、紙芝居を中心とした保育をお願いしている。そのため、教育実習Ⅰでは手遊びを実践する機会が特に多く、学生自身の今後の課題として強

く印象に残ったものと思われる。

今回の質問は、自身の今後の課題を複数回答するものであったが、学生の平均回答項目数は 6.7 項目であった。学生は、幼稚園実習を通して多くの自己課題に気付くことができたと言える。

【表 8】 今後取り組みたい課題

		24年度	25年度	計
ピアノ	人数	91	81	172
	%	89.2%	79.4%	84.3%
絵本読み	人数	42	63	105
	%	41.2%	61.8%	51.5%
紙芝居	人数	34	46	80
	%	33.3%	45.1%	39.2%
手遊び	人数	75	86	161
	%	73.5%	84.3%	78.9%
声掛け	人数	55	67	122
	%	53.9%	65.7%	59.8%
言葉掛け	人数	56	70	126
	%	54.9%	68.6%	61.8%
体調管理	人数	14	12	26
	%	13.7%	11.8%	12.7%
挨拶・返事	人数	11	19	30
	%	10.8%	18.6%	14.7%
言葉遣い	人数	20	39	59
	%	19.6%	38.2%	28.9%
提出物等の締切	人数	10	11	21
	%	9.8%	10.8%	10.3%
子どもの発達	人数	29	47	76
	%	28.4%	46.1%	37.3%
日誌	人数	28	28	56
	%	27.5%	27.5%	27.5%
指導案の書き方	人数	62	56	118
	%	60.8%	54.9%	57.8%
設定保育の立案	人数	68	71	139
	%	66.7%	69.6%	68.1%
実習に取り組む態度	人数	11	14	25
	%	10.8%	13.7%	12.3%
実習前の課題準備	人数	22	25	47
	%	21.6%	24.5%	23.0%

## VI. おわりに

学生のアンケート結果より、集中事前指導は学生の実習への意欲を高め、実習課題や保育技術を習得する上で、効果的な取り組みであったと感じていることが明らかになった。また、実習中は感謝の気持ちを持って取り組み、幼稚園教諭という仕事についても理解できたと感じていることが分かった。さらに実習後は、各自が実習体験をもとに自己課題を

見出すこともできたようである。

以上を踏まえ、本学の「幼稚園の機能、幼稚園教育の内容や方法の理解、望ましい保育者に向けての目標及び自己課題を発見する」という教育実習Ⅰの目的は十分に達成されたと考えられる。このことより、実習事前指導は一定の効果をもたらしたと言えるであろう。

今回の研究では、学生の意識や学生の自己評価を明らかにすることはできたが、実際の実習中の様子や園からの評価などは不明である。学生の自己評価と他者評価では、差異がみられると予想される。今後は自己評価と園からの評価を比較し、認識のずれを踏まえた上で学生指導を行いたい。

また、今回の調査では、学生が教育実習を通して子どもの姿をどのように捉えたのかを明らかにすることができなかった。今後は、さらに調査を進め、教育実習の事前と事後で子どもの姿の捉え方に変化が見られるのかを明らかにしたい。

### 【参考文献】

- 1) 杉原徹, 小島一久: 保育者養成校と附属幼稚園との連携のあり方に関する研究—教育実習事前指導重点化のための試みを通して—, 高知学園短期大学紀要, 40, 57-68. 2010.
- 2) 濱田尚吾, 太田裕子: 短大生の幼稚園教育実習における事前指導の役割, 羽陽学園短期大学紀要, Vol.8, No.4, 53-60. 2010.
- 3) 小川友恵, 山本弥栄子, 柴本枝美: 教育実習指導のあり方(1)—教育実習Ⅰの結果を踏まえて—, 大阪健康福祉短期大学紀要, 8, 143-157. 2009.
- 4) 福岡県私立幼稚園振興協会: 平成24年度養成校と幼稚園との懇親会—福岡部会—, 2012.
- 5) 福岡県私立幼稚園振興協会: 平成25年度養成校と幼稚園との懇親会—福岡部会—, 2013.